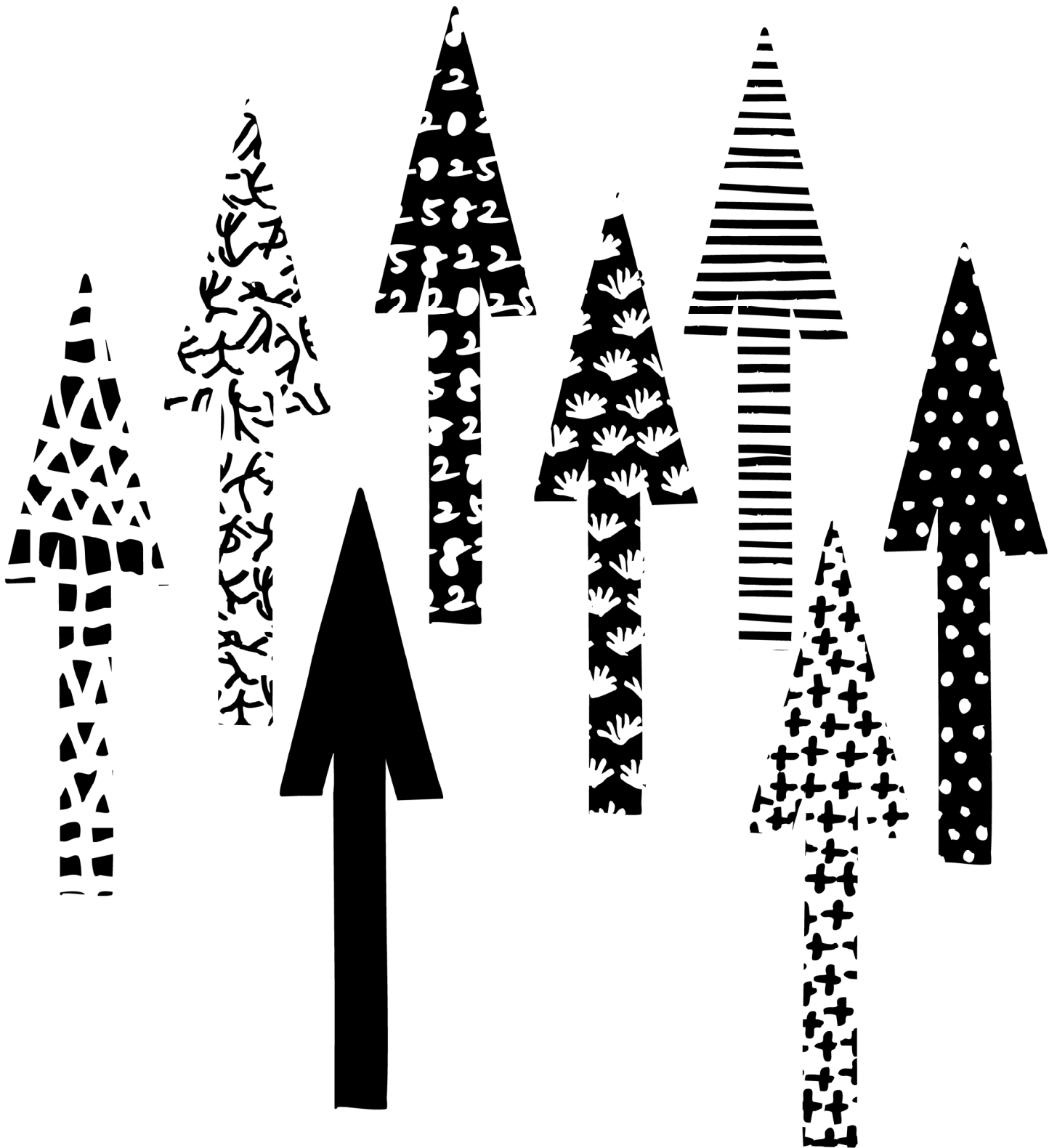


University of Tsukuba

Open Campus 2025

School of Art & Design



目次	芸術エリア施設・設備の紹介・・・4	学生の発表活動・・・11
芸術専門学群の教育目標・方針・・・1	教育内容についてのQ&A・・・5	アートギャラリーT+・・・12
芸術専門学群のカリキュラム・・・2	特色ある授業・取組・・・7	留学を考えている人に・・・13
取得できる免許・資格など・・・3	芸術専門学群学生の1週間・・・8	学生生活情報ほか・・・14
	入試情報・・・9	オープンキャンパス日程表・・・裏表紙

芸術専門学群の教育目標・方針

芸術専門学群は、総合大学における芸術教育の場としての特色を生かし、広い視野と確かな基礎学力を持ち、かつ柔軟な発想力と表現力を備えた、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家育成を目標としています。

芸術専門学群は14領域から成ります。それぞれの分野の特殊性を尊重して専門性の高い教育を行うとともに、各分野相互の関連を図り、広く他学群の分野にもわたって、個人の特性に応じた選択の自由を持たせることによって、情報化・国際化する社会の要請や急速な科学技術の進歩に対応し、知識を応用できる能力と新芸術の創造を志向する感覚を育てます。

14領域の紹介 Web



美術史



芸術支援



洋画



日本画



彫塑



書



版画



構成



総合造形



工芸



ビジュアルデザイン



情報・プロダクトデザイン



環境デザイン



建築デザイン

芸術専門学群のカリキュラム

芸術専門学群のカリキュラムの内容は、「基礎科目」「専門基礎科目」「専門科目」「卒業研究」等から成り、学年進行に応じた標準的な履修は、下図のような構成となります。教育職員免許状の取得を希望する人はこれらに加えて「教職科目」も履修します。

1 年	2 年	3 年	4 年
基礎科目（共通科目・関連科目）			
	専門基礎科目		
		専門科目	卒業研究
教職科目			

基礎科目(共通科目及び関連科目)：

基礎科目は、共通科目と関連科目に分かれています。共通科目には、「総合科目」「体育」「外国語」「情報」「国語」および「芸術」の6種類があります。

専門基礎科目：

専門基礎科目は、当該分野において、専門科目の履修のための基礎となる科目です。

専門科目：

専門科目は、当該分野において、重点的に履修を深めるための専門的な科目です。

卒業研究：

卒業研究では、当該分野において、4年間の学習成果を集約・発展させた卒業論文・卒業制作にまとめます。

教職科目：

教職科目とは、中学校教諭又は高等学校教諭に就くために教育職員免許状の取得を希望する人が履修する必要のある科目です。

領域別履修例

芸術専門学群のWebページからは各領域の履修例を見ることができます。

右のQRコードから、希望する領域の履修の様子をご参照ください。

□ 芸術専門学群HP → カリキュラム → 領域別履修例



取得できる免許・資格など

教育職員免許状

「教育職員免許法」で定められている所定の単位を修得し、学校での教育実習を修了すると、中学校・高等学校の教員になるために必要な免許を取得することができます。

芸術専門学群では、美術（中学校・高校）、工芸（高校）、書道（高校）の免許を取得できるカリキュラムを開設しています。その他に、他学群開設の科目等を履修することにより、国語、社会、英語、小学校などの免許取得ができる場合もあります。

＊ 実際に学校に就職するためには、教員採用試験等に合格する必要があります。

□ 筑波大学HP → 教育 → 教職課程

・ 資格取得に必要な科目の履修方法



・ FAQ（よくある質問）



学芸員資格

美術館や博物館には「博物館法」にもとづいて、資料（美術館の場合には美術品やその関連資料）の収集・保管・活用（展示・教育）および調査研究に関して専門的な職務に従事する「学芸員」がいます。学芸員資格を取得するためには、学士の学位取得（大学卒業）に加えて、文部科学省令で定められた科目の19単位分を修得していることが要件とされています。

筑波大学のカリキュラムでは、学内外で実施する「博物館実習」3単位を含めて、「博物館法施行規則」に定められている科目に関して合計20単位を修得することにより、学芸員資格を得ることができます。

＊ 実際に学芸員になるには、採用試験等に合格する必要があります。

一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格

芸術専門学群では、国土交通大臣が指定する建築に関する科目（「指定科目」）を所定の単位数以上修めて卒業すると、「一級建築士」「二級建築士」「木造建築士」の受験資格を取得することができます。

＊ ただし、免許登録には、試験合格に加え、建築に関する実務として国土交通省令で定めるもの（「建築実務」）の経験が所定の年数以上必要になります。

芸術エリア施設・設備の紹介

体育・芸術中央棟（5C棟）：

筑波大学で最も初期に建てられた特色ある建築。芸術専門学群の多くの授業が行われる。ミケランジェロ作の巨大なダビデ像などがある大石膏室は芸術専門学群の象徴的施設の一つ。

芸術専門学群棟（6A・6B棟）：

3・4年生や大学院生が研究をするための実習室などがある施設。学生の自主運営による展示施設「アートギャラリーT+」は6A棟2階、ペDESTリアンデッキに面してある。

芸術学系棟：

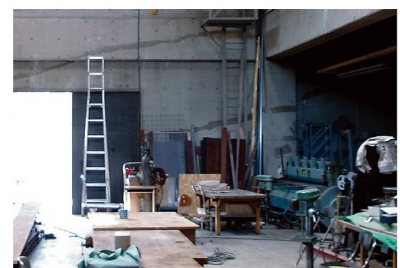
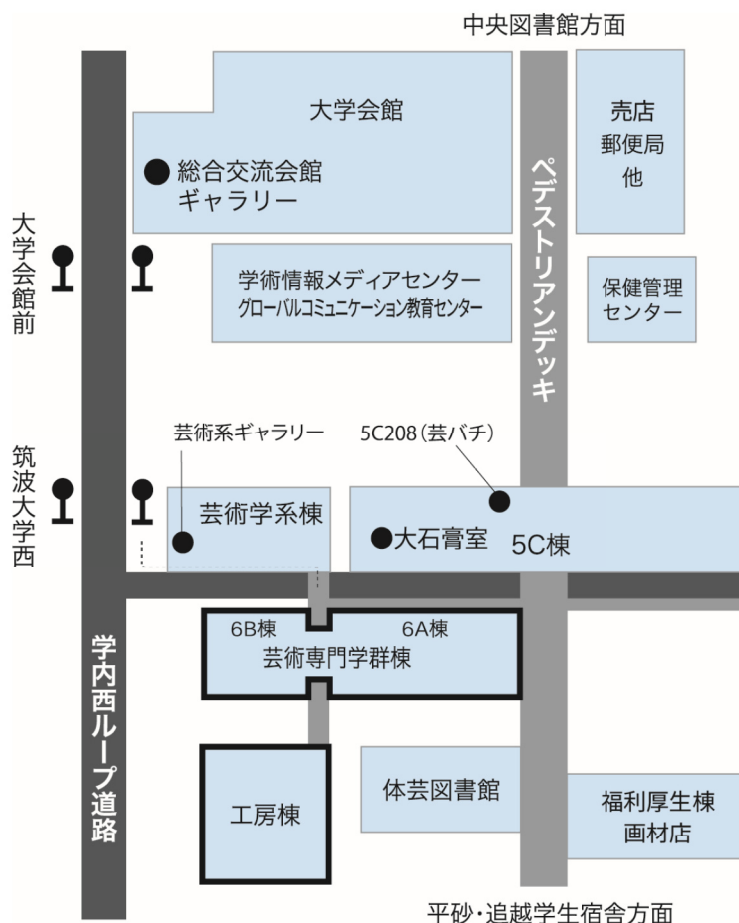
教員や大学院生の研究室、芸術系ギャラリー、筑波大学所蔵作品収蔵室などがある施設。

工房棟：

写真スタジオ、版画実習室、印刷実習室、彫塑実習室、ガラス・陶芸・木工の工房など、専門的設備を揃えた施設。

体芸図書館：

中央図書館とは別に、芸術と体育に関する専門的な文献・資料等を収めた図書館。美術およびデザインに関する専門書、展覧会カタログや専門雑誌、研究データベースなどの資料を豊富に収蔵している。



教育内容についての Q & A

Q：美術大学との違いは何ですか？

A：一番の違いは、本学が総合大学であることです。そのため、一定の条件下で、学内の他学群・学類が開設する授業を履修できます。また、他学群・学類と連携して取り組む授業もあります。これによって専門教育の深まりとともに、総合的な人材育成をめざしています。

Q：希望する領域へ進むにあたり、領域により人数制限などありますか？

A：今のところ、特に人数制限は設けていませんが、希望する領域によっては1・2年生で必修の科目があるなどいくつか要件がある場合もあります。

Q：1年次から週何時間くらい演習や実習時間がありますか？

A：時間割はホームページに掲載されている履修例を参考に組んでいきます。2ページ下部から、芸術専門学群の領域別履修例をご参照ください。

Q：専門の分野以外も学べますか？他学群の講義はどの程度受講できますか？

A：学べます。他領域の授業や他学群・専門学群の講義等を履修することは可能ですが、自分の専門分野の授業に支障がないよう計画を立てて行う必要があります。

Q：クラス制度とは何ですか？

A：1年次に3クラスに分かれ、主にファーストイヤーセミナーという授業を通して、履修や学生生活に関わる情報の共有や問題解決を行います。3年次以降はより専門に近い副担任も指導に加わります。

Q：一般教養科目と専門科目の比率は？

A：卒業に必要な124単位（Japan-Expertプログラムは別途）の内訳として、基礎科目19単位以上、専門基礎科目18単位以上、専門科目61単位以上があります（いずれも、卒業に必要な最少の単位数〔2025年度入学者対象履修細則〕）。

Q：絵本について学ぶことができますか？

A：ビジュアルデザイン領域で、絵本について学ぶことができます。

Q：入学前にコンピュータの知識を身につける必要はありますか？

A：1年次に情報という必修科目があります。入学後から学びをスタートする人もいます。

Q：写真の授業はありますか？

A：デジタル写真基礎演習があり、デジタル一眼カメラを使用して、ライティングを含めた写真の撮影技法を学びます。また、専門に3年生以降対象にコンテンポラリーフォトグラフィー演習という、アナログとデジタルフォトメディアによる写真撮影への現代的なアプローチを模索する授業があります。

Q：コンピュータを利用したイラストなどの授業はありますか？

A：複数の領域で開講しています。

Q：アニメーションに関係することも勉強できますか？

A：総合造形領域の3年生を対象としたメディア・アートの授業において、AfterEffectsによるアニメーションの高度な表現技術を学ぶことができます。また、ハイビジョン映像や3DCGに特化した設備もあります。

Q：古美術の修復を学ぶことはできますか？

A：修復専門の授業はありませんが、洋画領域では、洋画技法演習で古典技法などを学ぶことができます。日本画領域では、日本画技法演習で古典模写を学びます。また、「箔技法」「裏打ち」などについて、それぞれの専門家を講師として招いた実習を行います。

Q：工芸領域で漆芸を学ぶ授業はありますか？

A：漆芸を専門としている教員がおり、漆芸技法演習や漆芸制作演習があります。

Q：授業時間外の制作活動は自由に行えるのですか？

A：朝は7時から、夜は「実習室使用願」を提出することで21時まで可能となっています。

Q：校外学習（写生旅行など）はありますか？

A：学外での実習や演習として、写生旅行、美術館・博物館見学、フィールドワークなどがあります。

Q：科目の成績評価はどのように行われますか？

A：講義科目では筆記試験またはレポート、演習・実習の場合には作品などの成果物の提出、研究成果のプレゼンテーション、制作に対する講評会などにより成績判定を行っています。

Q：学生の作品を展示する企画（展覧会）等がありますか？

A：学園祭（芸術祭）や卒業制作展のほかに、各領域で企画するものや、有志で行うものがあります。また、学生が主体となって運営するアートギャラリー・ティータスもあります（12ページ参照）。

Q：海外との交流ではどのようなことが行われていますか？留学することは可能ですか？

A：芸術専門学群には留学生も多く在籍しています。また、アジア、北欧、ヨーロッパに部局間交流協定校があり、大学間の交流協定校も多くありますので、幅広い国に留学が可能です（13ページ参照）。

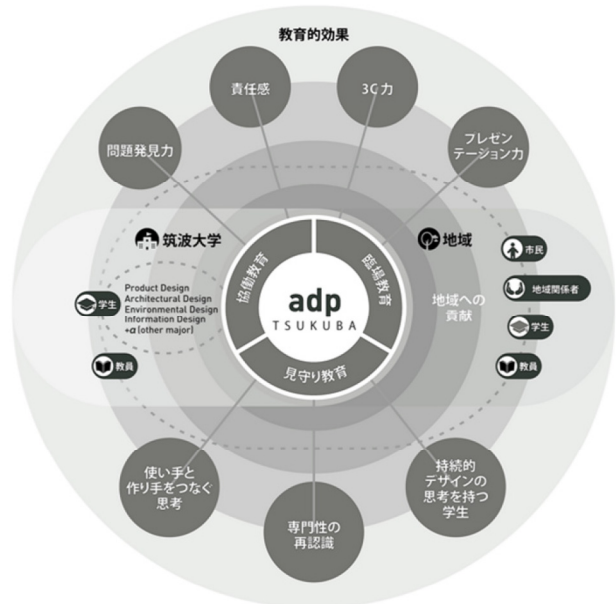
Q：卒業研究は論文ですか？制作ですか？

A：論文と制作の両方が求められます（美術史領域および芸術支援領域は論文のみ）。卒業制作展は茨城県つくば美術館で開催しています。

特色ある授業・取組

大学を開くアート&デザインプロデュース演習

本演習は全学群・全学年が履修可能な演習授業で、“Art Design Produce”、略して「adp」と呼ばれています。文部科学省の「特色ある大学教育プログラム」に採用され、2005年度からスタートしたadpは、演習を通じて、現代的な教育課題である「3C力（Communication・・・互いに意思・感情・思考を伝達しあう力／Collaboration・・・協働・共同することにより物事を成し遂げる力／Co-ordination・・・臨機応変・柔軟に対応する力）」の育成を目的とします。プログラム終了後も、授業として独自に継続させ、様々な地域・団体の協力・支援を得て、大学構内、つくば市に留まらず、様々な市町村で多様なプロジェクトを毎年展開しています。



高校生アートライター大賞

芸術支援研究室が企画する高校生アートライター大賞は、アートについて自分の言葉で考え、伝える力を育むエッセイのコンテストです。運営には学生も携わり、2024-2025年度で第11回を迎えます。

アートを、綴る

Weaving Art into Words

**第11回
高校生
アート
ライター
大賞**
The 11th
Art Writer Award
for High School Students

高校生アートライター大賞は、アートについて自分の言葉で考え、伝える力を育むエッセイのコンテストです。第11回は2年連続開催！2024年度は英語エッセイ、2025年度は日本語エッセイのコンテストを行います。

●日本語エッセイ
課題：アートについて、自分の考えを2000字以内の日本語で書く。

●募集テーマ
制作体験：自分が作品をつくれた体験をもとに書く
作品探究：アーティストがつくった作品について書く
芸術支援：アートと人々の交流について書く

●応募締切 2025年10月15日(水)

●応募方法 公式サイトからエッセイをダウンロードしてください。
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/awa/>

筑波大学 芸術専門学群

第11回 高校生 アート ライター 大賞

The 11th
Art Writer Award
for High School Students

第11回 高校生アートライター大賞 応募案内

【日本語エッセイ】
アートについて、自分の考えを2000字以内の日本語で書く。

【募集テーマ】
制作体験：自分が作品をつくれた体験をもとに書く
作品探究：アーティストがつくった作品について書く
芸術支援：アートと人々の交流について書く

●応募締切 2025年10月15日(水)

●結果発表 2026年3月 ウェブ上に(予定)

●賞(賞状・記念品)
大賞3名/優秀賞17名/入選30名/学校賞

●応募条件
●応募者は応募時に、高等学校ならびにそれに相当する公的教育機関に在籍する生徒(日本では主に15歳から18歳)。
●2000字以内で、個人が日本語で執筆したエッセイ。
●題名等、図、キャプション、参考文献等一覧、図原一頁は文字数に含まれません。
●題名を各自でつけてください。
●小論文のように論議を設定して論理的に考察しても、体験報告や随想のように個人的な思いを中心に語っても、雑誌や新聞記事のように伝えることを主眼にしたものでも構いません。
●「アート」の範囲は、美術やデザインを中心とした視覚芸術を想定していますが、執筆者が自由に判断してください。

●応募方法
下記ウェブサイトの情報にしたがって原稿を作成し、インターネットから送信してください。
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~awa/>

主催 筑波大学芸術専門学群
後援 国際美術教育学会InSEA
協力 ターナー色彩株式会社
企画 筑波大学芸術支援研究室

●お問い合わせ
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学芸術専門学群 高校生アートライター大賞運営委員会
awa@geijutsu.tsukuba.ac.jp TEL 029-853-2821

芸術専門学群学生の1週間

1年生Aさんの場合

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55		洋画概論 (専門基礎科目)	情報・プロダクト デザイン概論 (専門基礎科目)	基礎スペイン語 B I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
2 限 10:10 11:25	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)	美術史概説 A-1 (専門基礎科目)		English Presentation Skills I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
3 限 12:15 13:30		基礎体育 (基礎科目)		日本・アジア領域 比較文化研究 (比較文化学類 基礎科目)	芸術支援学概論 (専門基礎科目)
4 限 13:45 15:00	教育史概論 (教職科目)	フレッシュマン・ セミナー (基礎科目)			素描実習 I -1 (専門科目)
5 限 15:15 16:30	English Reading Skills I (基礎科目)	油彩画基礎演習 I (専門基礎科目)		素描基礎演習 I (専門基礎科目)	素描実習 I -1 (専門科目)
6 限 16:45 18:00	基礎スペイン語 A I (基礎科目)	油彩画基礎演習 I (専門基礎科目)	生物資源の開発 生産と持続作用 (生物資源学類 基礎科目)	素描基礎演習 I (専門基礎科目)	

上級生になって洋画の制作に集中できるように1年生のうちに取れる単位を取っています。教職の授業も取っています。留学も考えているので、第二外国語にも挑戦してみました。少し忙しい時間割になってしまいましたが、充実感のある生活を送っています。

1年生Bさんの場合

	月	火	水	木	金
1 限 8:40 9:55			情報・プロダクト デザイン概論 (専門基礎科目)	基礎ドイツ語 B I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
2 限 10:10 11:25	アート&デザイン入門 (専門基礎科目)	デザイン史概説 A (専門基礎科目)		English Presentation Skills I (基礎科目)	情報リテラシー (基礎科目)
3 限 12:15 13:30		基礎体育 (基礎科目)	人体構造学 (医学群 基礎科目)		環境デザイン概論 (専門基礎科目)
4 限 13:45 15:00		フレッシュマン・ セミナー (基礎科目)	人体構造学 (医学群 基礎科目)	構成概論 (専門基礎科目)	
5 限 15:15 16:30	English Reading Skills I (基礎科目)		ダイバーシティ &インクルージョン (基礎科目)		デザイン基礎演習 1 (専門科目)
6 限 16:45 18:00	基礎ドイツ語 A I (基礎科目)				デザイン基礎演習 1 (専門科目)

先生から履修の見本をもらい同学年の友達と一緒に履修を組みました。デザインを勉強したいので、専門にとらわれず環境、建築、プロダクトを満遍なく勉強しようとしています。また、せっかく大学に入ったので、必修ではないのですが第二外国語にドイツ語を、他学群の授業ではデザインする際の課題を見つけられるような授業を選びました。

時間割の組み方は希望する領域や、取得したい免許・資格などによっても異なります。
他の学年の時間割イメージも知りたい方は、右のQRコードからご参照ください。



入試情報

芸術専門学群では、入学後に様々な科目を幅広く履修しながら、自らの専門領域を柔軟に選択できる方式を採用しています。この特徴的なカリキュラムに基づき、入試における実技検査科目は、各専門領域に細かく対応しているわけではなく、希望領域にかかわらず、各自が得意な実技検査科目を選ぶこととなります。そして、入学後に希望する領域に進むことができます。

推薦入試と前期日程入試では、午前と午後に、受験者がそれぞれ実技検査科目を選択します。午前は、A1「論述」、A2「鉛筆デッサン」のどちらかを選択し、午後は、P1「論述（鑑賞）」、P2「論述（デザイン構想）」、P3「デッサン（木炭又は鉛筆）」、P4「平面構成」、P5「書」からいずれか一つを選択して受験します。

つまり、受験生は、計10通りの組み合わせから、自分が得意な実技検査科目を選ぶことができます。

表1：2026年度入試（2025年度実施）の実技試験科目の種類

時間帯	科目番号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後	P1	論述（鑑賞）
	P2	論述（デザイン構想）
	P3	デッサン（木炭又は鉛筆）
	P4	平面構成
	P5	書

前期日程入試には「総合選抜入試」も導入されました。総合選抜では文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲの選抜区分からいずれかを選択して受験します。総合選抜への入学者は、入学後の1年間は「総合学域群」に所属し、指定科目の履修等を条件に、2年次に芸術専門学群を含むすべての学類・専門学群（体育専門学群を除く）に進むことができます。芸術専門学群では、総合学域群から5名の学生を受け入れます。

表2：2026年度入試（2025年度実施）一覧

選抜方法			募集人員	試験日
①	推薦入試		35	2025年 11月27日 - 28日
	外国学校経験者特別入試 第1種, 第2種		5	
	国際バカロレア特別入試		若干名	
②	個別学力検査等 （前期日程）	芸術専門学群選抜	45	2026年 2月25日
		総合選抜	5	
③	個別学力検査等（後期日程）		10	2026年 3月12日
④	Japan-Expert(学士)プログラム特別入試		若干名	2026年 5月中旬

後期日程入試では、受験者がそれぞれ実技検査科目を選択します。A1「論述」、A2「鉛筆デッサン」のどちらかを選択して受験します。

表3：2026年度入試（2025年度実施）の実技試験科目の種類

科目番号	実技検査科目
A1	論述
A2	鉛筆デッサン

総合選抜や後期日程入試は、受験シーズン後半になって美術・デザイン系の進路を考え始めた受験生にも、芸術専門学群に進む道を開くものとなります。

入学者受入れ方針（アドミSSIONポリシー）に関しては、筑波大学大学入試情報サイトをご参照ください。ここでは、それぞれの受験に関する入学者選抜方針を確認することができます。

□ 筑波大学入試情報サイト → 入試を知る → アドミSSIONポリシー

<https://ac.tsukuba.ac.jp/examination/admission-policy/geijutsu/>



2026年度（2025年度実施）芸術専門学群入学者選抜に関する詳細（試験科目及び配点等）、および総合選抜については、下記Webサイトをご参照ください。なお、情報によって公開の時期は異なります。情報は随時更新されていきますので、ご注意ください。

□ 芸術専門学群 受験生の皆さんへ

<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/6045/>



□ 筑波大学 入試情報

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/index.html>



□ 筑波大学 総合学域群HP

<https://scs.tsukuba.ac.jp>



□ デジタルパンフレット「筑波大学案内2026」など

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/#01>



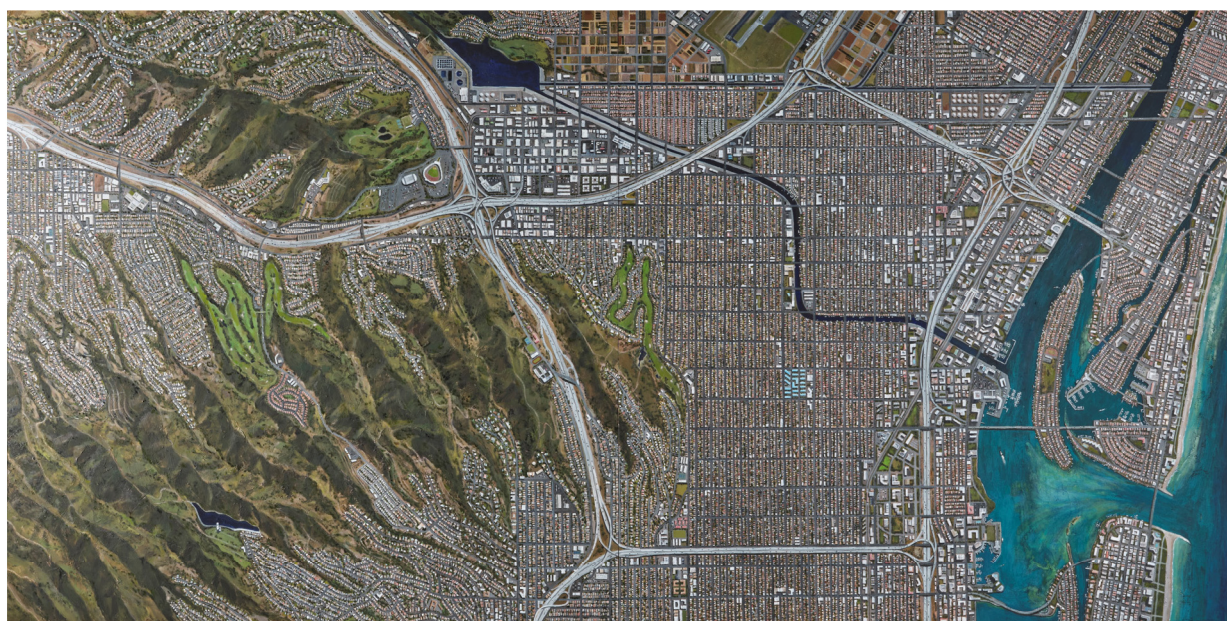
学生の発表活動

締め切りをいくつも抱える売れっ子作家とまではいかなくても、芸術の学生、実は発表の機会がたくさんあってかなり忙しいようです。そんな中でも、大学や大学院の制作・研究活動のファイナルを飾るのが、例年1月下旬から2月下旬にかけて行われる「筑波大学 卒業・修了制作展（＊）」。卒業・修了制作展は、茨城県つくば美術館を4週間にもわたって借り切って行われる大々的なもので、みんな全力でこの時とばかりに頑張ります。ここでは、2024年度の芸術賞受賞作品をご紹介します。

来年には、皆さんも、先輩のお手伝いに駆り出されるかもしれません（もちろん手伝う手伝わないは自由です）。その他個人やグループによる画廊・美術館などでの作品やパフォーマンス発表、公募展やコンペ、コンクールへの出品、学会での研究発表、などがあります。また、毎年「雙峰祭」（学園祭）にて、各領域の作品展示を行っています。

＊ 正式名称：筑波大学芸術専門学群 卒業制作展

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 芸術学学位プログラム（博士前期課程）修了制作展



2024年度 筑波大学芸術賞 受賞作品

林 和広「Satellite Imagery No. 12-13」

油彩・アクリル・紙粘土、パネル

162 × 324cm



2024年度 筑波大学芸術賞 受賞作品

山下 采夏「コトバズーカ」

コンセプト

"コトバを撃って相手に届ける"コミュニケーションデバイス

使用技術・素材

Arduino、パラメトリック（指向性）スピーカー、プラスチック（PLA）、レジン、LCDディスプレイ、LED ほか



T+ ティーマス

ART GALLERY
UNIVERSITY of TSUKUBA



ティーマス とは？

筑波大学アートギャラリーT+は、芸術の学生や教職員なら誰でも無料で使用することができるギャラリーです。週ごとに展示内容は変わり、平面、立体、インスタレーションなど様々な展示が行われ、主に制作発表の場として利用されています。ギャラリーは、6A棟2階のベデストリアンデッキに面したガラス張りの展示空間で、アピール効果も抜群です。T+のTは筑波大学を表し、創造・発信の場とする私たちがこのギャラリーを通してプラスの変化を起こしていこうという意味が込められています。

T+の運営は、学生が主体となって行われています。スタッフは、ペーパー班、アーカイブ班、ウェブ班に分かれて、ギャラリー利用者の受付や、ギャラリー整備、企画展の開催、交流会の企画、T+paperの発行、Webサイト・Xでの情報発信を行っています。



留学を考えている人に:国際交流実績と各種支援制度

芸術専門学群をはじめとする芸術の各組織では、海外の大学と活発な学生交流を行っています。国際交流協定校との間では、筑波大学からの留学生の派遣と先方の大学からの留学生の受け入れが積極的に進められています。

芸術の各組織は、世界各地の大学と部局間での交流協定を結んでいます。また、大学間で交流を締結した協定校の中でも、芸術関連の充実した教育プログラムを有する大学と交流実績が重ねられています。こうした協定校への交換留学では、学費の不徴収や単位の互換などの仕組みが準備されています。

筑波大学では、交換留学をはじめとして、パートナー校とキャンパス機能を共有し、科目の互換等ができるキャンパス・イン・キャンパスの制度、短期間の海外調査や研修プログラムへの参加、語学留学や海外の学会参加などに際して受けることのできる奨学金制度「海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）」が幅広く準備されています。

2021年から2024年度の4年間に、26名の学生が国際協定校などへの交換留学やキャンパス・イン・キャンパスの制度にて、半年から1年程度の短期留学を行いました。また、より短期間の海外研修プログラム（海外実習・演習や語学研修など）には99名が参加しました。これらの参加者は奨学金などの様々な支援制度を受けました。ぜひ様々ななかたちでの海外体験に挑戦してください。

「海外留学」＋「キャンパス・イン・キャンパスプログラム」
派遣学生数（2021～2024年度）

多くの海外留学生が「はばたけ！筑大生」をはじめとする
奨学金を受けています。

「はばたけ！筑大生」の短期派遣支援を受けた
海外派遣学生数（2021～2024年度）

支援プログラム	芸術専門学群	大学院	
		芸術関連教育組織	博士前期 博士後期
海外武者修行支援プログラム	3	4	
海外学会等参加支援プログラム		2	4
語学研修・海外研修参加支援プログラム	14	10	1
CinC(キャンパスインキャンパス)等支援プログラム短期	36	25	
合計	53	41	5
総計	99		

派遣校名	国	芸術専門学群	大学院	
			芸術関連教育組織 博士前期	博士後期
部局間協定校				
国立台湾芸術大学	台湾	1		
国立台湾科技大学	台湾		1	
中国美術学院	中国			
ホーチミン市美術大学	ベトナム			
スウェーデン王立美術大学	スウェーデン	1	3	
アイントホーフェン工科大学	オランダ			
ヘルシンキ芸術大学美術アカデミー	フィンランド			
デルフト工科大学	オランダ			
ストラート・デザイン大学	フランス	1	1	
国立工業芸術大学（パリ工科大学）	フランス			
バルセロナ大学	スペイン			
フィレンツェ国立美術学院	イタリア	2	4	
大学間協定校				
国立台湾大学	台湾			
韓国科学技術院	韓国			
弘益大学校	韓国			
梨花女子大学校	韓国	1		
清華大学	中国			
中央美術学院	中国			
チュラロンコン大学	タイ			1
ガジャマジャ大学	インドネシア			
ディーキン大学	オーストラリア			
ミラノ工科大学	イタリア	1	1	
ユタ州立大学	アメリカ			
ブランデンブルク工科大学 コットブス・ゼンフテンベルク	ドイツ		6	
ボルドー・モンテニュー大学	フランス			
サラマンカ大学	スペイン			
ペルー・カトリカ大学	ペルー			
協定校以外				
University of the Arts London Central Saint Martins	イギリス	1		
チューリッヒ芸術大学	スイス	1		
合計		9	16	
総数		26		

留学に関する参考情報：

□ 筑波大学 芸術ポータルHP → 国際交流 → 留学ハンドブック



学生生活情報ほか

学生宿舎とアパート：

学生宿舎は、筑波大学構内の一の矢地区、平砂地区、追越地区及び春日地区に計65棟設置され、約3,500室の部屋があります。各居室タイプごとの設備・宿舎費についてはWebサイトに掲載されているパンフレット「学生宿舎のご案内」をご参照ください。

□ 筑波大学HP → キャンパスライフ → 学生宿舎・アパート情報



学生宿舎以外にも、大学の周辺には多くのアパート、マンション等があり、種類も豊富なので、経費に見合った選び方もできます。アパート等を探す方法は、先輩からの引き継ぎ、知人の紹介、不動産業者への依頼があり、学生部学生生活課窓口でも物件資料の閲覧ができます。平均的なアパート（6畳・台所・バス・トイレ付き）の家賃は、月額35,000円～50,000円程度です。

課外活動（サークル等）：

課外活動は、正課以外にも自己の可能性を求め、より高い専門知識や技能を身につけるとともに、友を得て、先輩や後輩とも交流を深め、幅広い人間性や豊かな教養を身につける場でもあります。学術・研究のみならず、スポーツ・文化・芸術の分野においても伝統校である筑波大学には、それぞれの得意分野で世界的に活躍する多数の学生が在籍しています。

筑波大学には多種多様の「学生団体」（学長から認可を受けて学内に設立した団体）があり、基準に適合すると認められた「課外活動団体」（文化系40団体、体育系72団体、芸術系31団体）と、「一般学生団体」があり、それぞれの分野において活躍しています。

□ 筑波大学HP → キャンパスライフ → 課外活動（サークル等）



キャリア支援：

筑波大学では、学生の「学び」と「キャリア」を関連づけていくための様々なプログラムを用意しています。ヒューマンエンパワーメント推進局のキャリア支援チームでは、授業やガイダンス、個別キャリア相談、ワークショップなどを通じて、自身について考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようなサポートを行っています。

□ 筑波大生のための進路応援サイト 筑波大学キャリア支援チームHP



芸術専門学群の「就職支援 Portal」では、芸術キャリア教育の環として、卒業・修了生へのインタビューを掲載しています。最近の記事としては、美術館学芸員、アーティスト、自動車メーカーのモデラー、デザイナーとして活躍する卒業・修了生を伝えています。また、同サイトでは、主な就職先として「過去3年間の進路内訳」や、卒業生数と進路として「芸術専門学群 就職状況」のデータを公開しています。将来像のイメージを得るために、ご参照ください。

□ 芸術専門学群HP → 筑波大学芸術専門学群 就職支援 Portal



筑波大学オープンキャンパス 2025 芸術専門学群 スケジュール

日 時： 2025 年 8 月 2 日（土）

A タイプにお申込みの方：

全体説明会（10:00-12:00、 大学会館ホール）

+ 施設見学、各領域の展示・見学、相談

（13:30－15:00、 芸術エリア）

9:30－10:00 参加者受付（大学会館ホール）

A タイプ参加生徒の付添者は、控室 5C212、5C213、5C216
にて同時配信を視聴できるほか、施設見学、各領域の展示・
見学、相談のエリアへ移動しても構いません

10:00－10:05 日程説明〔副学群長〕

10:05－10:10 芸術専門学群長挨拶〔学群長〕

10:10－10:20 教育内容・専攻・コース・領域の紹介等
〔カリキュラム委員長〕

10:20－10:35 入学試験について〔担当教員〕

10:35－10:40 卒業後の進路について〔キャリア支援〕

10:40－10:50 休憩

10:50－11:50 在学生による受験体験談・学生生活紹介

・推薦 P4 平面構成 合格者（2 年生）

・推薦 P6 書 合格者（2 年生）

※2026 年度入試（2025 年度実施）では P5 に変更

・前期 P2 論述（デザイン構想）合格者（2 年生）

・前期 P3 デッサン（木炭又は鉛筆） 合格者（2 年生）

・T+の活動紹介 スタッフ学生（3 年生）

11:50－12:00 質疑応答・事務連絡

12:00－13:30 昼食・休憩

13:30－15:00 芸術エリア教育設備・施設等の見学、

各領域の展示・見学、相談

（6A、 6B 棟、 5C 棟、 工房棟）

B タイプにお申込みの方：

施設見学、各領域の展示・見学、
相談

（10:00-12:00、 芸術エリア）

10:00－

参加者受付（6A 棟 2 階エントランス

10:00－12:00

芸術エリア教育設備・施設等の見学、

各領域の展示・見学、相談

（6A、 6B 棟、 5C 棟、 工房棟）

C タイプにお申込みの方：

施設見学、各領域の展示・見学、
相談

（13:30-15:00、 芸術エリア）

13:30－

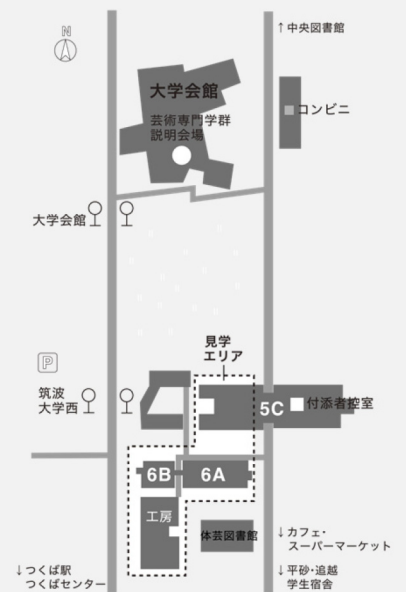
参加者受付（6A 棟 2 階エントランス

13:30－15:00

芸術エリア教育設備・施設等の見学、

各領域の展示・見学、相談

（6A、 6B 棟、 5C 棟、 工房棟）



表紙デザイン

芸術学学位プログラム博士前期課程 1 年・水本三夏（ビジュアルデザイン領域）

「総合大学」ならではの多様な刺激の中で芸術を学べる環境は、他にない魅力です。
大学の「多様性の尊重」という姿勢も、2025年の時代性を象徴しています。

今年度のOPEN CAMPUSでは、学内の自然豊かな風景と矢印を重ね、他学群からの
刺激や価値観の流れ、多様な出会いや学びの方向性を表現しました。

筑波大学オープンキャンパス 2025 芸術専門学群

発行者 筑波大学芸術専門学群

発行日 2025 年 8 月 2 日

編集 筑波大学芸術専門学群オープンキャンパス担当